京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙 一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 ▲五號活字一行一回金五十錢 ▲特別欄は別廣告五號活字十行金七圓五十錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久太
印刷人 松久鋼一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大六三番
仁川支局 仁川本町三丁目 電話二一一番

鮮米移入税廢止問題に就て（二）

―原政友會總務に質す―

朝鮮米移入税廢止が如何に朝鮮産業の發展を促がすに於て必要なるかは、全鮮商業會議所大會が一致を以て之に建議せし理由に徵し既に明瞭なりとすれば、之に就て更に吾人が喋々するを避けて、本邦に於ける物價殊に米價の騰貴を防ぎ國民中最多數を占むる中以下の民の生活を安易ならしむる點より、朝鮮米移入税廢止の最も急務なるを闡陳せんとす。

それ、人生の必須たる衣食住の三者にてゆるものなく、社會實際の出來事に徵するに此等の物資が時に個人の生命よりも高き價値を現はすことなきにあらず。昔時「死んだ後だつた二分だといふだらうが生て居たなら誰もくれまい」と一首の狂歌を殘して餓死を遂げし男ありしが如や、文學的價値なりと雖も一面に社會の冷酷を嘲けると共に、他面に於て人間の生命も時に五十錢の物資に劣ることあるを表はすにあらずや。衣食住の內殊も直接に苦樂共に激甚の反應を與ふるものは食料品なり、元來我國民の常食たる米價の變動常なく、騰貴一方に傾き定期市場十六七圓の高値を現はすに至りては、個人の生命は愈く其價値を下げ、實に悲慘なる境遇に陷るもの處々に現出せざるとも限らざるべし。

大凡、物價の騰貴は一般の遠因あり、特殊の近因あり、複雜錯綜して適當の判斷を下すこと容易ならず。雖も、現世界の大勢を按ずるに各國共に漸く物價の昂騰を來たすを免かれざるの趨勢あるは歷然たる事實にして、必ずしも本邦に於てのみ激烈の變調を來たしたるにあらず、而して其原因は世界各地に於ける金鑛產出額の增加に依るものにして金の產出增加は貨幣價格を下落せしめ貨幣價格の下落はやがて物價騰貴たるは經濟學の原則として爭ふべからざる事實なれば、金產出を制限するか若くは大に之を貴澤品の裝飾に用ゆる以外には之を防止する途なきなり。

然れども是は一般に亘る物價變動現象の遠因にして未だ之を以て本邦の米價昂騰に對する全部の關係を明らかにするに足らず、本邦に於ける物價の騰貴は最も重なる特殊的原因たる社會狀態の進步と人口增殖の結果なるべきは疑を容れざる所にして、爰に之を詳說する迄もなく何人も異議を挾むなかるべし、而して本邦の經濟狀態は古來米を以て標準相場と爲すの慣習あるが故に、米價と他の物資とは最も親密なる關係を有し一進一退一昂一落互に原因となり結果となりて市場一般の相場を支配する形勢あるが如し、されば米價の騰貴は直ちに他の諸物價騰貴を誘致するものにして、國民の生活に及ぼす影響は必ずしも飯米其ものゝ高價に限らざるを以て其苦痛を感ずる一層大なるものあるべし、試に明治二十六年以來我東京米穀取引所に於ける米價の高低を掲ぐれば左の如し

年次	最高	最低	平均
二十六年	七、四五五	七、〇二〇	七、二三〇
二十七年	九、六七五	七、一九〇	八、三一〇
二十八年	九、九二五	七、五五〇	八、七二〇
二十九年	一一、一一五	八、五五〇	九、九二〇
三十年	一三、五五〇	九、九九五	一一、三六〇
三十一年	一五、〇五〇	八、一八〇	一三、一八〇
三十二年	一二、五五〇	八、二〇五	一〇、四五〇
三十三年	一二、七六〇	一〇、七〇〇	[illegible]
三十四年	一五、〇〇〇	一〇、〇二〇	[illegible]
三十五年	一四、五〇〇	一〇、〇二〇	[illegible]
三十六年	一五、六〇〇	一三、二〇〇	[illegible]
三十七年	一五、〇〇〇	一一、八五〇	[illegible]
三十八年	一五、四〇〇	一三、四四六	[illegible]
三十九年	一四、八五七	[illegible]	[illegible]
四十年	一六、八〇一	一五、五五二	[illegible]
四十一年	一六、四九八	一五、二三〇	[illegible]
四十二年	一三、九四四	一三、七五三	一三、七五三

依是觀之、米價騰貴の趨勢は其來ること久しく、而して止むを得ざるものなるが如し之に對して吾人が研究を要するもの他あらず新領土たる朝鮮產米移入に賦課する關稅の廢止にあり、其理由は次に於て之を述べん。（琴嶺）

●直取引禁止命令

從來取引所改善問題の根本たりし直取引に就き此程主務省より左の如く禁止する旨發布したり

一 直取引競賣は來る六月三十日限り之れを禁止す但し國債類は此の限りに非ず
一 金錢株式の受授は取引所に於て嚴重に之れを監督す
一 從來の直取引仲買人は十一月末日限り營業を廢止し同日を以て定期仲買人希望申請のものは之れを認可す

（二十三日の東電參照）

●朝鮮農會近狀

朝鮮農會は去四月一日より農商工部農務課より分離して新に敎化門通りに事務所を設置したるが是れと同時に會務を整理し事業を擴張せんとの方針を以て爾來着々進行中のところ兼ねて總督府に稟請せる補助問題も本月初旬本年度より年額一千圓の補助下附の事となりたるに付何れも本會前途の爲に喜び居れるが目下の會員數は三千七百餘名にしてなほ日に增加し本月に入りては七十餘名の新加入者あり併し會員の三分の二は鮮人にて各道に支會を分設し每月一回會報を發行して會員に頒布し居れり事業の主なるものとしては昨今計畫中に屬する產物品評會を開設するは勿論其他く居れるが本年秋季を期とし昨年の如く一なれども今日に於ては先づ從來の會務整理の緊急なるを感じ四十年以來放任して顧みざりし帳簿の整理を爲し會費の徵收等に力を傾注し其結了を俟つて徐ろに諸事業施設に着手する由にして內地に於て產業地の北海道の農會は尤も見るべき發展をなし居れりとの事なれば由來農業國の稱ある朝鮮の農會なれば其施設宜しきを得ば必らず目覺しき發展をなすなるべし

●咸南の大炭鑛

咸鏡南北道の石炭鑛脈は夙に世人の知る處なるが中にも咸興方面の石炭は分析上朝鮮に於ける最良質なる由なるが今般神林啓太郎、土屋修及び小林政助三氏の名義にて採掘を許可されたる咸興郡加平郡の炭鑛は咸興を距る四里なる城川江の上流に在りて面積六十九萬四十四坪の鑛區なり其脈は十二尺より約三間位に涉り所ありて將來有望なる咸南唯一の大炭鑛なるが目下採掘の準備中なりと

●全羅道恩賜事業

內務部調査による全羅南北道の恩賜事業は左の如し

▲全羅北道の部

△授產事業 各府郡共同事業として授產講習所設置し米麥選種法蠶桑培養肥收穫乾燥調製及短期講習會に傳習せし桑園栽培秋蠶飼育收繭選繭鑑定竹細工製造及貯藏病蟲豫防蠶具製作等の實習、長期講習にして傳習し、林業 國有林に關する講話 種苗圃設置、設計調査事業水利事業等を行ふ事△漁撈改良方法として漁撈練習等を勵行すべき事△漁具給與漁具使用方法練習を行ふべき事△教育事業 四校（一）既設公立普通學校補助（四校）（二）同補助指定學校及私立普通學校を公立普通學校に變更補助（二校）（三）既設私立學校中より選定公立普通學校に變更補助（九校）（四）私立學校補助十八校 △凶歉救濟事業 （一）種穀給與（總額の二分）（二）農具給與（總額の二分）（三）食料給與 總額の六分 可成勞役を要する適當な事業を計畫し相當の勞働をさせ給し食糧の資に充てしむ

▲全羅南道の部

△授產事業 各府郡別事業として養蠶傳習所設置漁業傳習所漁業練習觀乾鰮製造法傳習殊に苦蔘補製造傳習製麻傳習蓆莚網以製造傳習等を行ふ各府郡共同事業として養蠶巡回教師を設置する事△教育事業は目下計劃中 △凶歉救濟事業は（イ）種苗の給與（ロ）農具給與（ハ）食糧給與（ニ）衣服貸與（ホ）施療（ヘ）米穀供給必要あるとき之認可を得此方法によ

◎新刊紹介

△日の出公論第（二卷第一號）二條公爵監督の下に創刊せられし大雜誌にして本の風格を備へ用は純の體裁に任せ科學を主として其他の雜誌に任せる主義より成る二條公の「同志の努を宣す」塚田社長の「我邦國體の本源を知れ」社說「日の出公論創刊に就ての所感」等何れも堂々たる大論文此外有益の文字、富み趣味津々たる文苑以下の諸欄孰れも大出來、定價二十五錢東京市京橋區弓町日の出公論社

△貿易 五月號 論叢貿易雜纂等各欄皆實業者に稗益を與ふものを以て充され英文支那文欄共に振へり（東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會）

△實業之世界（五月十五日號）三宅博士「逆境の苦樂と順境の苦樂」小觀「日本銀行と大藏省の出張所」大木伯の「余は神の實在を認むるが故に如何信念を有す」を始め別卷賓し且痛快なる論文多く例に依り雜誌界の一異彩たるを失はず（一冊十一錢東京市芝區愛宕町三丁目實業之世界社）

召使れ初　第六十回

黑法師

「お菊樣仰せの通りでござりますかの」と直ちにころり後より相槌打ちて「國尾樣御威勢上らせらるるは、澤野樣のお身に光りが減るでござります」と忠義さうに云ふは同じ端女の小萩なり。

「晴、こちをよう御合點、犬畜生でも恩を知つて居りまする、況して人間た役は卑うてもやはり武家に召使はれる者でござります」とお菊は愈よ媚びるやうに「私ばかりには云ひませぬ小萩樣れしの樣れ御樣ばかりは云ひませぬ、誰一人暖らず澤野樣には殊の外御厄介を掛けて居ります、私共が斯して穩に日を送るも皆澤野樣のお蔭でござります」

「皆な御最も、御最もの仰せでござります」

並居の女中は異口同音に答へたり。

「さ、その恩……澤野樣の恩、少しでも忘却ござりましては、それこそ犬畜生に劣るでござります、皆樣も人間、同じくは犬や畜生共の仲間入は致したくござりませぬ」

「まことに御意、お菊樣御意の通りでござります」

「澤野樣の御恩を報ふは、此處でござります、小石も數さうても、數多くを一つに包めば、大きい石にも負けぬほどの重量となります、私共見る影ない端女でござりますが、これでも皆が一身にならば國尾樣の勢ひに楯突く事が出來るでござりませぬか」

「うれや勿論、私共の背後には澤野樣の御光りを添ふて居ります」と小萩は一層意氣額なりき。

「それでは皆が一心になつて、お道樣御出世を妨げるかの一」

「これ、澤野樣へ、御恩返しの一つでござります」

「例し其事はござりませいでも、お道樣人も無げの御機嫌、見るたび胸が惡うなるでござります」

「さらば」とお菊は一座を見廻し「什麼して望みを遂げまするな」

「恥辱を與かす外ござりませぬ、彼のお方、限け町家の御出生と云ふでござりませぬか」

「あなたさま御存じでござりませぬか、芝飯倉に二人とない富限者、御當家御用聞商老厚德矢倉娘分といふことでござります」

「武家方御結のお方かと思へば、金で光る町人の娘、高が知れて居ります、高の知れたものでござります」とお菊は猶も得て「私にお任せなされませ、きつと本意を遂げて見せます」

「其時は皆なお手傳ひ致します、ゆめ御油斷、されますな、町人の目、申すものは奧の方でぴかぴかとよく光るものでござります」

「おほゝゝ」と小萩は笑つて「爺どは異つてお目が光でござりまするな」

「町人の目はよく光ります、常から武家方に押へられて、無念々々を噛む居るでござりまするゆへ、僻み根性に光るでござります、由て御油斷大敵、皆樣、氣をお付けなされませ」

お清召出されに對する反對派の一團はこゝにこの急を決しぬ、彼等は道、他の邪路をよく知りぬ、お道の勝れて照量ある手は將來當家のの勢力を握り占むるならんと懸念し、お道勢力の增長するにきて彼等の…く澤野の光りの減り行くが彼等に取りて第一の苦痛なりき、將第一の不平なりき。

「ちやが此御慘察、總樣へも知られぬやうに爲されませ」とお菊は一座に命令して「謀計は密なるを則と致します」

東京電報（廿五日）

▲東宮の御召宴　皇太子殿下には海軍中將として第一艦隊に席を置かせらるゝより同艦隊が目下横須賀軍港に碇航せるを好機とし明廿六日正午齋藤海相、伊集院軍令部長、第一艦隊司令長官上村大將、同司令官野元少將、參謀長秋山大佐以下幕僚艦長等を芝離宮に召させられ立食を賜ふ由に承はる

▲東宮殿下還啓　千葉縣下へ行啓中なりし皇太子殿下には昨日御還啓あり本日參内あらせられたり

▲東宮妃と皇孫殿下　皇太子妃殿下は數日來打續き御不例の處御熱御脈搏も普通にて御食慾日に御增進あらせらる今回は傳染病なりし爲め皇孫殿下には久しく御對顔なかりしも既に御全快あらせられたれば近く御對顔あらせらるべしと承はる

▲政變と首相の言明　政變の時期逼迫せりとの風說盛んなるを以て中央派の幹部は桂首相を訪問し之を質したるに首相は事實無根なりと打消したり

▲大藏證劵賣高　二十三日より賣出したる大藏證劵の廿四日正午迄の賣高は東京、大阪、北海道、金澤に於て千〇九十五萬圓に達せり

▲病院と低利資金　從來府縣市立及び其他公共團體の經營に係る病院にして維持困難なるものには本年より低利資金を事業資として貸出すべしと云ふ

▲鮮人觀光團入京　東洋拓殖會社主催の鮮人觀光團一行は廿四日入京せり

▲森林警察問題　今回の北海道の山火事及び野火の實例に鑑み内務省と協議の上將來森林警察の活動に關する方針を決する筈にて先づ内地に於ける林野の防火施設は防火線を築造する計畫なり

▲岐阜御料林の失火　岐阜縣各務御料林に失火あり木曾御料林に延燒せんとするとの公報あり

▲傳染病豫防策　内務省にては初夏に際し傳染病豫防に關する施設事項を各府縣に通牒したり

雜報

●政務總監の東上　既報の如く山縣政務總監は桑原秘書官を隨へ愈々二十六日午前九時南大門驛發列車にて東上の途に就きたるが滯在は約二週間の豫定なり

●政務總監と隨員　山縣政務總監東上に就き桑原秘書官の外入江書記官武藤事務官の諸氏隨行を命ぜられたり

●東拓洞債歓迎　東拓會社に於ては昨年以來同社貸付規則の改正により公共團体又は農家二十人以上連帶債務を負ふ者に對しては無擔保貸付の途を開かれたるが一方には一般借入申込も小口のもの增加の傾向を示し來りたるに依り資金の供給漸次好況を呈するに至りし由なるが黃海道鳳山及信川兩面に於ては從來洞債、那事業資金を附近の日鮮金貸業者に仰ぎ月るものあり多數洞民連帶として年々農五六分の高利を支拂ひ秋收期に至りて元利を償還する慣例なりしが東拓社は是等の洞民に對して貸付を開始したるに成績良好なるを以て今後は大に此方法を擴張する筈なり

●棉花會社の近況　朝鮮棉花栽培會社は去る一日より十五日を以て株金二圓五十錢の拂込を締切りたるが株式取引市場における時價は拂込金額よりも二三十錢方低位なる爲め株金の拂込大に澁滯し尚ほ未拂込の者あるを以て來る本月末日に催告狀を送り促し若し應ぜざる者は發起人に於て之を引受ける事とし來月廿日迄に創立總會を了せしむる筈なりと云ふ

●長距離電話　本年度に於て起工すべき京釜間長距離電話に就て聞く處によれば仰ぎ居りし材料未だ着せず目下沿道設計中に屬すを以て本工事着手期は未定なるべしと

●南大門外道路取擴決定　南大門外停車場に達する道路取擴の件は屢々報道したるが右は愈々二十二間取擴むる事に決し新たに取擴むる部分六間幅は一坪八圓、間幅は一坪五十五圓平均とすることに決せり移轉料は分割して支拂はるゝ筈にて地所所有者は悉く承諾し一人不承諾の者あり其筋にては已むを得ず收用法を適用せんとする由なり

●明年度豫算調査　總督府各部にては目下明治四十五年度豫算編製に從事中なり且つ體裁は從來と異り今度支部、廳村、役なりとす其他に關する新設計其他に關する立案も濟みたれりと云ふ

●電氣會社の許可數　本年度通信局に於て各道より認可申請し來れる電氣會社の許可數を聞くに平壤大邱、田、群山、清津等の五ヶ所なり

●監視所の成績視察　廿四日明石警務總長中野警務課長安保安課長樂師川警務部長等は京畿道始興郡東面に設備したる監視所の實地視察をなせり同所に於ては面内の壯丁を交々當番に任じ居り同所員等の一行は面長及び部内の人民を召集して監視所設置前後を比較して存廢の可否を尋ねたるに孰れも存續を希望し斷面にありては賭博窃盜等の犯罪絶ゆることなきも東面に於ては監視所設置以來殆んど賊なく頗る有効なるを認めたりと云ふ

●京博開設と總督府　過般商業會議所聯合大會に於て京城博覽會開設の決議を擧げたるは既報の通りなるが是れに關する總督府側の意見を聞くに京博の開設には頗る同意する所なるも之に付ては二十萬か三十萬の經費を要するは勿論の事にして其經費は本年度に豫算するは不可能なり故に其事業を計劃するとせば明年度豫算に計上する外なきもうれ〳〵準備に多少の日子を要すべければ四十六七年後ならでは其實行を見ることを得ざるべしと云々

●財務瑣談

▲超過百餘萬圓　荒井度支部長官談片

最近各地方の納税成績は孰れも非常の好現象を示し現に前年度の如き調定額に對し約九割五歩の納入を了れるのみならず更に豫算額に比し百四十餘萬圓の增收を見るに到れり思ふに其原因の主なる點は米價著しく騰貴の爲め一般農民の納税力に綽々餘裕を生じたる結果に外ならずと斷言し得べし而かも翻て又之を年々の徴税成績に顧る時は一昨年より昨年昨年より今年と年々多少の進境を示しつゝあり而して此事實は明かに新政の圓滿に進行しつゝあるを表明せるものにして大に其意を強ふする所以なりとす

▲改定小作料に就て　改定小作料は昨年八月を以て完成せる國有地調査の結果に基き之を定めたるものにして謂はゞ從來の不公平を正だし正當なる率を施せるに過ぎざるなり又從來は地方に依り物納制度なりしを今後は全部之を金納に一定せるものなりとす而して改定の結果大に小作料の增加を來たせる地方多々あるべきも一方亦非常に低減を爲せるもの尠からざれば政府の收入額に於ては格別の增加をも見ざるべし目下之が施行に就きては豫め一般小作人に告諭すべく各道に通達し置けるが今日迄の情報によれば何等憂ゆべき現象を認めず極めて圓滿に施行し得べきを信じ居れり更に又從來所定の小作料は中間に差配者ありて私利を貪れる事實砂からざれば今回之を改定するも或は實際の小作人には何等輕重得喪なかるべきやも知れず

▲塩田計劃の否認　廣梁灣鹽田は本年中に一部豫定の工事を竣功すべく然も後更に平安南道に一鹽田を開拓すべしと傳ふるも事實無根なり尤も曾て該方面の調査を行ひし事あるも右は單に其適否を調査せしのみにして現に此種の調査は他の地方にも行ひたる事あり而して廣梁灣鹽田は今日迄の結果によれば極めて良好の成績を示し此成績を以て進行すれば豫定の一億斤を得る致へて至難事ならざるべきか元來自國に生產し得るものは可成之を外國に仰がざるべく努むるは最も必要の政策なりとす則ち此意味に於て該鹽田計劃の前途を期待せざるべからず豈に漫りに之を危殆視して可ならんや

▲穀物移出税問題　過般商業會議所聯合會の決議せる穀物移出税撤廢の建議は未だ度支部に廻付し來らず隨つて何等詮議にも上り居らざるが扨て之を撤廢したる曉を考ふれば總額約六十餘萬圓の關税を失ふに到るべきを以て大に考慮を費さゞるべからず蓋し大國家の大經濟より言へば僅に六十餘萬圓何かあらんなれども朝鮮現在の財政狀態に顧みる時は決して爾かく輕易に之を見る能はず故に充分攻究を遂げたる上に非ずんば如何とも意見を語るに由なし唯だ問題は該税存置の可否に非ずして財政の點に在也

●通信官吏の練習　通信局にては本年度より内地同種各郵便局より數名の通信員を選拔し東京通信官吏練習所に官費にて入學せしむる事に内定し居たるを以て近く該人選を行ひ東上せしむべしと云ふ

●御眞影奉戴式　京城民團高等女學校へ御下賜の御眞影は既報の如く二十五日午前十時四十分京城驛樓上に於て奉授式を擧行檜垣道長官代理中路内務部長より成田女學校長代理に御眞影を奉授せり當日の列席者は大庭府尹、古城民長、府廳民團職員を始め白巖道警務部長以下、櫻井道廳財務部長、柳慈與官、職員及び總督府職員等にしてそれより十一時道廳出門、古城民長の御先導にて成田校長代理御輿

●學校敷地の行惱み　屢々報せし京城民團立小學校新築敷地は京城に關す一部分今以て認可とならざるより民團當事者に於ては右府令第號民會を招集せし都合にて他の問題の緊急案件とも迄塞へ居る次第なるが前記の始末なる為め大に當惑しをるのみならず來九月開校豫定なりしも斯ては到底其運びに到らず假令來月認可となり其月より起工するものとしても三ケ月餘の日子を費すべければ開校は十一月ならでは開校するを得ざるべしと云ふ

●原敬氏の來京

▲原氏一行の入京　既報の如く原敬一行は廿四日午後十時廿分着の列車にて入京したるが南大門停車場には各部長官局長韓銀東拓各重役其他官民數百名の出迎あり總督府より差廻しの馬車に投じ旅館天眞樓に入り

▲原氏の總督訪問　原敬氏は今朝寺内總督を總督府に訪問し夫れより昌德宮に到り午後は龍山總督官邸の觀察をなしたり

▲總督邸の晩餐會　寺内總督は二十五日午後七時より官邸に於て滯京中の原敬、井上角五郎、小川平吉、高橋光威、濱本太郎の各代議士を主賓とし大久保大將、山縣總監、各部長官、韓銀及東拓の各重役、顧本元貞、朴泳孝、李完用、朴齊純、趙重應、高永喜、閔丙奭、李夏榮の諸氏を陪賓に招き盛んなる晩餐會を催ふすと云ふ

▲東拓の歡迎　東洋拓殖會社にては廿六日午後六時よりソンタクホテルに於て晩餐會を催ふす筈なるが寺内總督を始め大久保軍司令官、各部長官、東拓監理官、大庭府尹、古城民長、市原總裁、山門會頭等四十餘名をも同時に招待する由なり

▲韓銀の招待　韓國銀行にては入京中の原敬氏及一行を市原總裁社宅へ招ぎ廿七日午後七時より晩餐會を開く由なるが當日は寺内總督、大久保軍司令官、各部長官、柴參謀長、吉原副總裁、國分人事局長、外波武官、兒玉秘書官等三十餘名をも招待し同時に滯京中の中村滿鐵總裁をも招く由なり

▲一行の出發期　滯京中の原氏一行は廿八日午前九時南大門發列車にて東上の途に就くべしと云ふ

▲寺内原兩氏會見　清國及び西鮮を視察して廿四日午後十時南大門驛着入京したる政友會總務原敬氏は隨行代議士高橋光威氏と共に廿五日午前十時總督府に赴き寺内總督山縣政務總監と會見し約四十分間にして退したり會談の内容は原氏北清滿洲及び西朝鮮視察談を試み寺内總督は朝鮮近狀に就き二三物語りたるのみにして何等中央政局の事に及ばざりしと尚は入京中の代議士小川平吉氏も同席したり

●李王妃と愛婦總會　李王妃殿下には來る廿七日の愛國婦人會總會に總督夫人兒玉伯夫人等と共に臨席さるゝ由なり

●總督の協會員招宴　寺内總督は來る廿九日夜朝鮮協會大會に臨席のため來京せし主もなる會員を官邸に招き晩餐の饗宴をなす由なり

●片岡代議士入京期　日本生命保險會社長代議士片岡直温氏は去二十一日大連に入り翌二十二日旅順に赴き同夜大連に引返し同二十三日營口に向ひ同地一泊廿四日奉天に着し同地泊の上より安奉線に下り廿七日夜安東縣着翌朝京義線にて入京の筈なりと

●中村滿鐵總裁の入京　滿鐵總裁中村是公氏は夫人同伴滿鐵及鎭南浦の視察を終へ本日午後十時四十分の列車にて入京天眞樓に投ずる由なり

●加納子爵と退京　滯京中なりし加納子爵は二十五日出發歸京の途に就く

●時尾營林廠長　時尾營林廠長は二十五日午前寺内總督及山縣政務總監を總督府に訪問したり

●市原總裁の總督訪問　市原韓銀總裁は二十五日午前總督府に寺内總督を訪問し約二十分間會談する處ありたり

●地方課長不在中の事務　内務部地方局長武藤文吉氏は別項所載の如く廿六日山縣政務總監に隨行を命ぜられたるにより同氏不在中の事務は小原地方局長處理すべしと

●藤原書記官の出張　藤原度支部書記官は四五日中當地出發約一ケ月の豫定を以て南鮮地方へ財務狀況視察の途に上るべしと云ふ

●水利組合竣工式　前記全北臨益水利組合にては工事漸く完成せしに付來る六月四日全北益山郡春山甲坡臺山上にて盛大なる竣工式擧行の由にて本社へも招待ありたり

●麻浦東幕間架橋　是迄麻浦東幕間に介在する漢江支流には架橋無き爲め通行人は渡渉の不便を感じ居たるを濱島龍山警察署長は甚だ遺憾とし盡力の結果總督府の補助金及び有志の寄附金千八百餘圓を以つて去る四月初旬より巾二間長さ二十間の架橋中なりしが愈々竣工觀瀾橋と命名廿六日竣工式擧行の由同地方の交通も此後多大の便宜を見るに至るべし

▲全羅北道全州新報社主催の日本觀光團一行三十一名出發以來一ヶ月餘の日子を費やし本邦商工業視察をなし本日得意然として歸府愉快氣に團体の解散式を擧げてそれ〴〵歸郷の途に上り候

●勸植物園の臨時休園　二十七日は昌德宮御苑に於て愛國婦人會總會開催せらるゝに付同苑内の動物館及植物園は一般の觀覽を許さずと

●司法官の海外差遣　内地にては年々二名宛歐米に於ける司法制度視察のため司法官を海外に差遣中なるが朝鮮總督府にても殖民地に於ける司法制度等調査を要するものあり是非一名宛位毎年海外に差遣したき當局の希望なるも豫算の都合にて未だ何等決定せず或は明年度豫算には計上するの場合を見るあらんとの事なり

●慶州衛生の改修　慶尚北道慶州は新羅の古都にして物產も多く内地人の移住者も漸次增加すると雖も街路狹隘にして將來の發展上道路改修の必要を感じ官民協議して今回千五百圓の豫算を以て改修することゝ決し在住内地人より七百圓を寄附し道廳より三百圓を補助し不足額は鮮人一戸に付五錢宛を[illegible]

●釜山より（廿四日發）

▲教育補助金決定　總督府は本年度より金五千圓宛釜山民團立商業學校及び同高等女學校へ教育補助金として交附の旨慶尚南道廳より府廳へ電達せり實に釜山教育會の爲め賀す可く候●●●●加之ならず來年度より管下學校組合立學校に對し月額三十五圓なりしを四十圓に增額せり釜山商業學校の如きは本年八月迄に竣工し總費額三万五千二百九十八圓是に通路を五百八十二圓加ふることに候

▲新民團債成立　金百二十万圓を韓國銀行に借替へは前任の若松府尹及び阿部韓國銀行支配人に依り愈々成立を傳へらる其要は今迄の年八朱利を民團の要求通り年六朱とし期限十一ケ年間年賦償還とし水道税收入の點より打算し最初に七萬五千圓償還し漸次增加最後十一萬圓償還の契約となれりこれに依て在住民の負擔は一ヶ年間二萬四千圓を減じ候

繳收し既に工事に着手したり

●平壤滑人の勢力　平壤に於ける清國人數は五百二十五名外に附近に於て農業に從事せる者をも加ふる時は八百名位にも上る由なるが之等五百二十五名の清國人は何れも商人と目做して差支なく就中貿易商、其數も幾何なし而して之等清國人及日鮮の貿易商に於て取引せらるゝ同地一年間に於ける貿易額は大概内萬圓と稱せられ居るが此の清國人がメキシコ銀貨を以て日本貨と交換する率は日貨一圓に就き銀八十三錢五厘位なりと

●特志者の貧民救恤　水原の鄭班長水原は郡内の貧民百廿人に玄米二十俵を施與し又振威郡馬山面の禹鑑官、李敦俊、禹三鉉、禮定主の四名は盡力して貧民廿二名に白米八石を施與せり

公人私人

▲加納久宜（貴族院議員）釜山へ ▲原敬（代議士）天眞樓へ ▲高橋光威（代議士）同 ▲濱野力太郎（總督府技師）▲掛札季義（總督府記長）巴旅館へ ▲小黒幸太郎（協會主幹）山本旅館へ ▲赤松直温（帝國生命保險會社取締役）浦尾旅館へ ▲阿部秀太郎（韓銀釜山出張所支配人）釜山行

▲京龍兩驛の貨客

▲南大門驛乘降客　廿四日の分　乘車客　六八七　下車客　八一五　乘車賃金　一、〇八九、八一

▲南大門驛荷扱高　廿四日の分　發送　五二噸　到着　五二四噸　貨物賃金　九二八、〇六

▲龍山驛乘降客　廿四日の分　乘車客　二一六　下車客　六九　乘車賃金　一五一、八四

▲龍山驛荷扱高　廿四日の分　發送　三二噸　到着　四一六噸　貨物賃金　七四、〇二

▲京城手形交換高▼

五月	金高	枚數
廿五日	一二五、〇八七、五四〇	四二三

▲茶袋▼

大日本勸業株式會社の加藤増雄君が入京してソンタクホテルに滯宿中だといふので、度支部農商工部でもモウ顏出しをしさうなものだと頻りに噂さして居る▲一方又同ホテルを訪問するもの引きも切らずであるが、扨て誰れ一人として會つたものは無い▲無い筈だ曾て加藤増雄なる人はソンタクホテルに泊まつて居らぬからである▲何ふして夫れが泊まつて居るように傳わられたといふに停車場の賓公が當日の報告したからであると聞いて孰れもロアングリ▲漢城病院を總督府醫院の分院にするといふ噂が傳はつたので京城の民間刀圭界に一大恐慌を起こし、臨時大會を開いて反對運動を決議した▲而ふして委員を設けて關係官憲へ訪問せしめて居るが醫事衛生の方では民業妨害になるからと敎圍さ官憲の方では夫んなに騒ぐと官業妨害になるとか力み、龍虎相搏つの奇觀を極めて居る。

臨益水利道水試驗 ……以下臨益谷山部長……の引水路通水試……支障なく豫期以上……

▲相場電報（二十五日）（朝鮮銀行西村支店着電）

▲神戸　寄 三三、四〇（前場）　三三、四〇（後場）

▲大阪期米 ……

●廿五日前場五月寄十六圓七十一錢

▲仁川米豆取引 ●廿五日前場六月出來不申▲七月寄

汽車の旅

晩香

愈々午後の一時五十五分發で平壤へ逆戻りの豫定なので、是非もう一泊と止められ、知己の情け、振り捨てゝ、定刻に又汽車の人となつた、今はぜん〳〵平凡の野を走る、目に映ずるもの耳に聞くもの一として快ならない、益々興に要求するのが無理なるべし、列車は其夜の十時三十有四分に平壤に着いた、こゝでは形ばかりの旅舎に就いたが、比較的親切で受けがいゝ、之では茶代も奮はずばなるまいと曰ふ先の心配が起る、よければよくてわるい、わるければわるいで矢張わるいから困る、然し御丁寧之で始めて旅の勞れも忘れるわけなり、宿屋の別嬪樣の七重の膝を八重に折り、特別やさしい聲で御召物は如何に、それは物…如何にぞ日はれると、ひやひやして穴へでも入りたい樣な氣がする、明日は又南浦へ行くべく午前七時三十分發の列車に乘らねばならぬ、汽車の旅もこー曰ふ具合だと体も據いたものでない、

　結びかけたる假寝の夢を
　　覺ます汽車笛にくや

翌も十二日豫定の時刻に又汽車の人となつた、九時十分鎭南浦停車場に下りた、矢張汽車は有かたいものである、こゝには自分の親類のものが小學校の教員をして居るので、出しぬけに夫を學校に訪問した、郷里を出てから始めて異郷での再會、先でも面喰つた樣子不取敢自宅へと曰ふので小使の案内で其宅へ誘かれた、刺を通ずれば妻君驚いた体、まあぞーかと曰ふ有樣で、玄關で一通り挨拶かすんで靴をぬげ、洋服をぬげ、和服に着替へと妻君の御心配も一通りでない、海岸を散歩すべく一寸出かけたれども、今日も亦矢張霧ではつきりしない、

　遙々尋ねて見に來た浦で
　　憎くやかくした今朝の霧

市街を一巡りにも、それみやげにすべきものも見當らない、土地の名產物でもと、さがして見たけれども先の日觀光團が來て洗いざらい、もつていつたとて一枚も無い樣な始末、くだらないものを二三枚買つて郷里へ通信した、兎や角して居る中に妻君が何時の間にやら余輩の爲めに特に精込めたる手製の御料理出來、素より辭すべくもあらず付京を出てから四日目、漸く酒に有り付いや樣なわけで、田舍式酒宴は茲に開かれた山海の珍味よりも美人の酌よりも、より以上の御馳走で田舍にも花が咲きタ七時半の列車で平壤に逆戻りの豫定とそれじやんとなつた。

　あれも之もと思つて逢へば
　　思ふ十分の一も出ぬ

土地建物鑛山株券賣買

一擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本賣物あり
一市内適當の場所にて印刷業老舗機械附屬品全部讓り物あり
一良質石綿山黒鉛鑛歩止まり好き鑛山賣物あり
一水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一電話賣物あり

小林藤商店

京城明治町三丁目　電話六五五番

最上醬油

京　大　永登浦大塚釀造所

◎貸金　旭町二ノ一五別府高橋
組合銀行券向小路有價證券には極秘密に低利御融通可申候

韓國銀行舍宅下
仁川山根町
養雞場

●白毛冠黒色ポーランド
●ノーザン系黒ミノルカ
●モルガン系プリモースロック
●スミス系黒色オーピントン
●クック系銀色ワイヤンドット
●フエリッチ系
●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す

M.C.C.

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

土耳古賣
紙卷
エムシーシー
京城、平壤龜屋――釜山、木浦、群山高瀨支店

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村質店隣）
榊齒術所
電話は（六六九番）へ

弊館には夜警の設備有り
御望の好き事
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

新荷着
浪平板洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商
佐野彥藏商店
電話一六三番
振替口座京城一二〇番

上等清酒
釀造發賣元
仁川港
吉金酒店
電話七六四番

龍山櫻町百十一番戶
整骨專門治療院
毎日午後二時より五時迄出張
主任醫　村田象一
但し先代より家傳、當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨挫患も之を治癒せしむ
先代の門弟　助手　中野伊之七

家傳名灸（といや）
●うちみくじき　はねつき
特に胃腸病かつけ專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戶
荒川マツサージ院

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

鐵冷温泉
此の温泉は左の如き病に效ある事妙なり
きくめのある　温泉湯
一りうまちす、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんそく、腸胃加答兒、肺病、いんけ、一症きりきず、其他內用には鐵冷温泉を伴用すれば尤も效能あり
長谷川町一丁目鐵冷温泉建築所北横手　電話一四一番
旅館　浴客貸席
鐵冷温泉

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所
仁川
八景園
（電話五五二番）

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

S.K.S
土耳古煙草
專賣局定價一號金六圓二號金五圓
京城辻屋、龍山愛田、木浦沖永、馬山西川
エスケーエス
オチ商會
電話七三八番　電略オケ

日韓瓦斯電氣株式會社
瓦斯コークス特約發賣（がらの上等なり）
三菱石炭專賣店
Ⓜ
明治町二丁目
村山商店
電話千五十一番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良
高等牛乳
京城南大門外
荒井牧場
（電話一〇五六番）
當牧場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーン等最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當牧場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の要務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
龍山本町三丁目
龍山販賣所
（電話二〇二番）

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下貨物類

正札一引なし
官衙、陸軍銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

京城光化門通
淺田洋服店
店主　大島專藏
（電話四百十三番）

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長　小川鶴太郎
（電話四二七番）

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所　京城明治町一丁目
（電話一五四九）

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

電話開通
三百七番
國學足袋仁川發賣元
麻裏草履卸小賣
仁川本町三丁目
松尾商店

文房具
和洋紙
事務器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業申候
電話六四八番
振替口座一五四番

正宗正則
釀造元
上酒
小賣壹升に付二十錢
卸賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
味淋燒酎釀造元
中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

壯者流行元京
すて祢
南山町一丁目
電話千五百二番

寫眞
京城本町四丁目
（健化病院前）
河合寫眞館

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等商業學校
酒井組
電話一一〇番

薄口醬油
特約販賣
仁川高雄京城支店

恩給
年金扶助料者手數料
五ヶ年歩五厘利
京城鍾路通り東洋保險會社裏小路相思洞廿九統八戶博多屋
上州屋支店
電話九〇五番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

芙江公州間定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着翌六時
公州發毎日前七時芙江着同四時宇船內
御客樣の娛樂用として新聞雜誌等備付あり
御客樣の便利を計り
芙江驛前　中條運送芙江支店

キ
五月中瀛船出帆廣告
仁川發　群山木浦
天草丸　日、廿六日
玄海丸　日、廿五日、廿九日
漢江丸　日
二名丸　日、廿六日
鶴島丸　行
千葉丸　日
仁川本町四丁目
合資會社秋田商會船舶部
電話七三番七五〇番

(第三種郵便物認可) 明治四十四年五月二十六日 京城新報 (金曜日) 第六百八十六號 (五)

多情多恨

京城藝妓の半生(十七) 開進亭の米八

京城にも隨分藝妓の數は多い從つて所謂腕達者もある諸藝に堪能なのも決して少ないとは申し上げぬが扨となるとこゝに紹介せんとする米八程のは實際左樣沢山はないのである、禮式、香、茶、生花、裁縫、國文に通じ英語はナショナルの三までにスイントンの二まで習つて居ると云ふ三味線は無論である謠曲もやる、和歌、俳句もやると云ふのだから空恐ろしい位のものである、行つて行れぬ事もないが罷いことだから此れ計りは行りませぬと云つて居るのが枕探しに逆餘立ちだ東西イ、扨其の多能なる米八彼れの生れは大阪市である、二十三歲の夏家の大黒柱たるべき實兄の某が手を出した相場に大失敗したので藝妓となる事になり、大阪新町で名高い小山席から小國と名乘つて左褄取る身となつたが何分にも生れ故郷では恥かしい處から僅か三ケ月で、鳥取の西券番へ鞍替へした名は其の儘の小國で、スルと間もなく贔負を受けたのが時の縣參事官、現の知事公岡喜七郎、併し何とか云ふ關係は無かつたので間もなく同縣廳の庶務課長たる、臼井君に落籍されて正式に結婚したのであつた、故に彼れは今名を臼井くうと云ふ、若く化粧つて居るから一寸見ば三十二三としか見へぬが其の戶籍なるものを洗つて見ると明治五年五月四日の出生とあるから疑ひもなく數へ年齡は四十歲と云つても七十迄には未だ三十年間があるから格別何うと云ふことはないと本人節る樂觀して居る、と云ふのは記者の惜まれ口で彼れが今日あるに至つた原因を聞けば實に涙である、庶務課長夫人となつた彼女は三十年の秋男子を儲け二十三年には女兒を分娩した、三十七年の二月又もや女の兒を産げた、其の喜悅の聲も消ぬ船ねての三月風邪が因となつて良人の臼井は病死した、何分藝妓を女房にする位の男、蓄財なぞの有る筈がない、無い丈けなら未だしも少なからぬ借財をさへ殘して逝つたのだ、家財や衣類なぞを賣り拂つて其方の始末を附け小やかな家を借受けて賃仕事なぞして遺兒の三人を相手に細い煙を立てゝ居たが子供が成長するに伴れ學校にも通はせねばならぬので生活費が嵩んで迚も遣り切れなくなつた、當時岡喜七郎君が韓國政府の內部次官として京城に居たから手紙を以て相當な方法は有るまいかと照會した其の返事に、當地では我慢しても三四十圓位の收入は請合だとの事に勇み立つて長男だけを親族に預けて長女の君子(當年十二)次女の花子(當年八歲)の兩人を伴ふて渡鮮し岡君の配慮を得て旭町一丁目に和服仕立の看板を掲げたが思ふ程の收入がない、ホンの糊口にも不足だ況んや子供の教育なぞ思ひも寄らぬ其所で思案を變へて其の年の九月開進亭から今の名で稼ぐ事となつたのである長女は昨年十二月迄南大門小學校に通はせて居たのだが今は二人とも內地に歸して然る可き人に養育を托して居ると云ふ、折にふれては

小夜更けて月見る毎に思ふかな君ましませば倶に賜らん

と詠み出でゝは惚け、或は

根ヶ締めて風に吹かるゝ柳哉

と見識を見せ、亡き夫の命日寺に詣でゝ說教を聽聞して

照らされて御慈悲身にしむ夜の道

かなぞホツ句つて納まつて居る、と丈け聞くと悟り濟ました女の如だが、何うして〳〵盛んなものだ。次は

清華亭鈴奴

●請負人の詐欺取財 福井縣大飯郡青郷村當時龍山元町三丁目土木請負業今村久太郎(三十六)は兎角の評ある請負業者なるが本年三月中旬馬山浦に於て橋梁工事入札あるに際し龍山河端町同業中山千松なる人と同伴出張せしが其の際中山宛土井穎助より送付し來りし銀行爲替金三百圓を同人の不在中認印を僞造し同人名義にて騙取したる事實の探知する處となり檢事取調の上檢事局に送らる

●強請損ねて廿日 兵庫縣武庫郡六甲村字內矢田當時住所不定中西小一郎(三二)は本町一丁目七番戶北內淺吉方及仙波やす方に至り無意味に脅迫して金錢を强請せしより南部署に突き出され拘留十日に處せらる

●友人の品を盜む 仁川寺町二丁目渡邊桂太郎方同居藤治(三二)は同宿たる戶田豐作が戶棚に仕舞置たる縮緬兵兒帶一本代十圓を去廿一日の留守中盜み出し古町二丁目代納ない方に持行き新町二丁目千尾大重方へ入質を依賴し其の金を以て京町二丁目飲食店一二三亭に登樓し酒色に耽り居たるを仁川署の刑事に舉動不審と認められ取調の結果自白に及び二十四日檢事局通りとなる

●鮮人小兒の溺死 京城府西江面栗島八統一戶趙辰烈長女順任(四)が廿四日午前十一時頃兩三名の小供と遊戲中誤つて附近に在る溜池へ墜落溺死せしを四時間經過の後實母金氏が見せしとは子を持つ親達の注意すべき事也

●賛化病院の改良 當地本町四丁目賛化病院にては內科及び小兒科に衛戍病院付醫學士長谷川軍醫を囑託し每水土曜日の午後より來診施診共に患者の希望に應ずべしと尙ほ他所務を改良し患者の便宜を圖る可しと

●關根出張店の賣出し 京城明治町名蹟に移轉せし同店は本月廿二日より夏物小島秩父縞の賣出しを始めしに價格の低廉なる爲め非常の賣れなりと

蟇仙人の仙術の理法 余の親たる片田源七翁の實驗に就て(十二)

稲田山水

●白刄握りの理法 昔からよく一刀兩斷と謂ふことを云ふそれは押しても引ひても突ひても叩ひても寸分の出來ない曖昧模糊不得要領の物事を、キツパリ解決する最良の方法である。エーイと一聲、やられた奴は眞ッ二つ、物具形を失ひ事は其惑を釋く、簡單明瞭、截然として寸疑なし。或は又言葉盡き、理塞がり、貫徹せず然も一點未了の心事是を通せんと欲して通ずる能はず、氣彌々昂り頭愈々熱す、其時其手眞刀を把る、血を見ざれば遂に已まざる也、兩刀の手前容捨ならずとは此際の事、斯くて刀は强きもの正しきもの、鋭きもの、怖ろしきもの、あぶなきものなり、之は吾人が刀に對する平日の習慣的感情である、其の刀を稱に使つて人に見せ、切れはしないかヤレあぶないぞと氣を揉ませる、揉ませて觀客の虛に乘ずる是蝦蟇仙の利用である。

轉じて蝦蟇仙の振り廻した白刄は、切れるように見へて切れないのでなく、切れ相に見へて切れぬ事は事實である、そして其手にも別に仕掛けはなかつた只茲に注意すべき二三の事柄がある、

一、振り廻した刀は一尺七八寸乃至二尺內外のドサなりしこと

二、其刀は何れも白鞘で鍔がないこと

凡そ刄物で物を切くのに、押へたばかりで切れるものは牛の蠢か腐れ豆腐位なもの、必ず押すか引くか打ち下すかで、接觸點の急速な移動の無ければ只チット當がつて居た分には千年經つても切れ氣遣ひは更にない筈のものなることは理義明白。蝦蟇仙は松葉先きより約五六寸の處で、鍔梅と加減は手の內一ッでシツクリ握り、ヤーヤーの掛け聲に先づ觀衆の氣をもぞつかせて、何處が火元ときふろつく目先きにキラ〳〵物凄ひ程に刀は光る、壽座の舞臺には燈煙かついて居る。そこで觀客はアット驚く無心の滑稽を他處に見て先づ蝦蟇仙の打ち振る刀の手元を見よ、竿で地を打ち棒で木ヶ擊ち鞭で馬を打つ、普通の打方とは打ち方が違う、正に蟇鍵る吊した糸扭を打ち振り廻すとソックリなツコの呼吸と手附に心を留めよ。然り刀の往くに隨つて手を移し腕を伸べ躰を回へして月輪水車の形を描き掛け聲にて殺氣を添ゆ、などと決して冷やかすにあらず、眞に斯の如し眞に夫れ斯の如し。若し夫れ其鍔のなき而して又刀の短きを撰ぶ所以に至つては更に一段の妙諦あり曰く、鍔若しあらば振り廻す其時、圓轉に伴ふ遠心力は刀量をして重からしめ、飛び出し拔け出さんとする物理的原則に、握つた手の內に應用せられてあたら親爺の手が切れる。刀の長きも亦然り、此處に於てか刀の短かきを撰び其鍔無きを喜ぶ、豈怪しむを須ひんやである。

●演藝だより

●歌舞伎座 世評既に定評ある雲右衛門一行も愈々廿六日より再び華々敷く開演の由にて初日の番組は大石瀬左衛門(雷聲)義士の傳高田軍三(福丸)岡野金右衛門繪圖面取り中席南部坂後室雪の別れ上下(雲右衛門)にて木戶錢も前回に比し格外の割引をなす由

●壽座 滑稽極りて赤好況なる曾我廼家一派廿六日の特狂言は假名手本忠臣藏七五三 全六場

●取消 本紙六七九號第三面欄に人相手詐欺を働くと掲載したる記事中事實相違の廉あるに付取消され度旨申込みありたるに付新聞紙條令に依り右所に該記事の取消す事の眞相に付きては更に報道すべし

廓のうわさ

▲本日は第一種第二種取り混ぜ御披露に及び申候▲本月の本萬拍子日く大阪のおカ十さんも好いけれど東京の梅の花園程好いたらしいのは無いワと及び腰に致し居候とかや▲度はぬ戀は背伸びを致し溜息を洩し居候如何なる理由にや上の日曜の菊代は此頃は何故か盛んに料理を致さず候▲清月樓の鹿の子女郎は過ぎつる年の水害から今の身となりたる次第なるが前世の約束と諦めて居ります諦めの如な顏を致し居り候▲同樓の蝶々は口八丁手八丁の傑ものにて極めての全盛に御座候▲「天に在す我等の父よ日每夜每に犯す妾の罪を許し給へアーメン」と虫の好い事を申しつゝ盛んに罪を作りつゝあるは第一樓本店の甚奴に候▲井戶本店の政奴彼れは大層に豆腐が好きに御座候「飲中最も冷ヤッコを歡迎してよ」▲ソマトーゼ飲まぬ人の標本の如なりし元菊家の茂松も今は○村支店の御內儀とて大きな丸髷を頂き居候が首の骨が痛うに思はれ候▲第一樓の靜香名に背かぬ溫順な妓に候▲井門支店の喜美枝は顏を優しき妓なるに似ず議論が大好物とは人は見掛けに寄らぬもの▲日曜樓の小曜根が利巧者だけに以前の非を悟り眞面目に勉强致し居候▲清華亭の今奴は『家鴨は厭になる程丈夫なもの』……「詰らなかなくつてよ」と敵に端はざるの顏を赤くして賜さへあれば民より下取りを願ひ候(廓雀)

涼飲料 シトロン

▲鄙民文庫▼

▲下の如き投書があつた彼此對照せられたい▲市內到る處に與を捕へて風紀を無視したる彼の魔窟も三週餘日後には茎滅して新、桃の二廓に幾分の發展を以て淸掃し了りたるものと安心して油斷すべからず彼等狡奴は巧妙なる手段を弄して其酌婦なるものを徐々に市內の飲食店則ち牛肉屋、かしわや、うばや、てんぷらや、しるこや等の類に仲居とか給仕女とか名稱を變じて表面堅氣を粧ひ裏面は飲み食ひの客に對し酌婦ヶ異ならざる行爲をする秘密賣笑婦も中なるを耳にせり果して然るときは健康診斷をせざるが故に其害毒は一層甚しかるべし心すべきもののある是等の飲食店に對しては嚴重なる取締を要す(一明治町一丁目●●杞憂生)▲小料理店に藝妓設けるなど皆んな希望し方だが所謂全滅主義では無かつたのだ恐らくは輸入部の異意も左樣では無かつたことゝ察す、夫れが何うしたことか逐々所謂全滅の姿になつたのだ、來る可き旱天を雩ひ降雨に際して河川を堰かば枯稿に失ふ所を水に失ふことゝなるのは必然の理だ、其筋當局の方針決して今日の結果を來すは肝なる事ではなかつたのだ、一二の小才子が儲けんとして小才を揮つた爲めに一致を缺いだ爲めに斯くなつたのだ、才子の才子連も虻も取らず蜂も取らずとなり、所謂ろげ屋しろ粉屋等に怪しい女の役を見るかもの此勢が强くなつた。併し治民の要は習縮み標本で來ざるに脫けか必要だと云ふから綜りに締麗な取締は却つて害心すべき結果を來しはせまいか(久丘衛)▲新の四新聞記者の夕刻を振り回して廣告を勸誘し應じないと向く自分の新聞に惡口を列ねる困つたものだ(被害者の一人)▲仁川鎭港祝賀會當日は仁川市民は絕對に休業すべきものだ(設備保)▲何だね、料理屋も警察署員も郵便局員も夫れや少々不便だ▲龍山鐵道官舍二十二號の下女は顏を横掃だと云ふ投書が來たが仲傷でなくば改心すべく注告します(畑)▲公平無私の警察署員に對する投書は多少中傷だ投書云々から察するに二課長の事だらうが事實は反對だ(部下の一員)▲サノサ節を一つ『嬉しさに空うちながめて目に涙、あの星あたりが主の宿、空飛ぶ艦の音傳に今の思ひが知らせたい』(靜之助)▲仁川には水屋か荷馬車屋に成て居るのが澤山あるようだが營業鑑札は受けて居ないのですか無稅では勤務者との公平を缺きますね…(斯事者の一人)